2022(令和4)年度 国際学術研究助成決定一覧

(公財) 平和中島財団

1. 国際学術共同研究助成(決定3件/応募23件)

研 究 課 題	研究代表者(参加者)	助成額(万円)
匈奴帝国の単于庭と龍城に関する国際共同研究(人)	ポルジギン フスレ 昭和女子大学 国際学部 教授 (10)	500
ジョセフソン接合を用いた量子技術:超広帯域スピン共鳴分 光(理)	久保 結丸 沖縄科学技術大学院大学 サンエンステクノロジーグルー プ サンエンステクノロジーアソ シエイト (8)	463
ヒトに存在しない代謝経路を標的とする新規抗マラリア薬の 開発(保)	田中 信忠 北里大学 薬学部 薬学部 教授	500

2. アジア地域重点学術研究助成(決定21件/応募48件)

研 究 課 題	研究代表者(参加者)	助成額(万円)
井上隆雄撮影のラダックおよびバガンの仏教壁画に関する表 現研究と芸術実践(人)	正垣 雅子 京都市立芸術大学 美術学部 准教授 (6)	149.9
イスラーム主義に対抗する穏健イスラームの試み—インドネ シアの「宗教的穏健化」政策を中心に(人)	東長 京都大学 大学院 アジア・アフリカ地域研究研究 科 教授 (4)	148.7
イラン・日本関係構築の考察~経済と文化・社会の連関の視 点から(社)	山岸 智子 明治大学 政治経済学部 教授 (5)	150
伝統的な農林産品と風土の知識の継承を促す制度と地域コン ソーシアムの構築:日中における地理的表示保護制度の活用 を通じた地域住民・少数民族独自生存圏における生物多様 性・遺伝資源の保全の推進(社)	香坂 玲 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授 (6)	150
持続可能な地域づくりと窒素循環の日中比較研究家畜生産 と生態系保全の両立に向けて(社)	関 耕平島根大学法文学部 教授 (6)	150
ベトナムにおける枯れ葉剤被害者家族の生活実態と支援策に 関するフィールドリサーチ—ベトナム南部と北部との地域間 比較研究を中心に—(社)	桑原 真弓 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授(6)	150
インドネシア海域における溶存態微量金属元素挙動の解明 (理)	Wong Kuo Hong 金沢大学 理工研究域物質化学系 助教(10)	150
落雷位置標定ネットワークの構築による気象災害防止に関す る研究(工)	成田 知巳 湘南工科大学 工学部 教授 (2)	150

	-	
トンレサップ湖流域の開発が湖の環境と漁業資源に及ぼす影 響の実態解明(工)	木内 豪 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 (5)	150
中国・江南地方の水郷都市「新場古鎮」の歴史的価値に関す る共同研究-都市の持続的発展に寄与する「都市継承デザイ ン学」の構築に向けて(工)	奥山 信一 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 (6)	148
熱帯泥炭湿地林における土壌 CO₂および CH₄フラックスとその変動要因の解析(農)	渡邊 彰 名古屋大学 大学院 生命農学研究科 教授 (4)	150
熱帯アジアのイネ品種が持つ種子脱粒性による収量損失の実 態解明(農)	石川 亮 神戸大学 大学院 農学研究科 准教授 (5)	150
モンゴルにおけるデルタコロナウイルスの感染状況把握と分 子疫学調査(農)	神谷 亘群馬大学 大学院医学系研究科 教授 (2)	150
フィリピンにおけるキャッサバてんぐ巣病ファイトプラズマ の感染動態(農)	千葉 壮太郎 名古屋大学 大学院 生命農学研究科 准教授 (3)	150
フィリピンにおける家畜のマダニ媒介性感染症のゲノム疫学 調査(農)	田仲 哲也 鹿児島大学 共同獣医学部 教授 (3)	150
東南アジアの代表的なバイオマス燃焼を介した室内大気汚染 における酸化ストレス評価(保)	鳥羽 陽 長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 教授 (4)	150
インドにおける三日熱マラリア重症化と自然免疫様リンパ球 γδT細胞の関係性を探る(保)	井上 信一 長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 准教授(6)	150
新規皮革工場集積地における環境モニタリングによる重金属 汚染状況の解明(保)	加藤 昌志 名古屋大学 大学院 医学系研究科 教授 (9)	150
マイクロプラスチックと環境汚染物質との複合曝露による影 響の検討(保)	市原 佐保子 自治医科大学 医学部 教授 (6)	150
アジアを起源とし拡大する腸炎ビブリオ感染症のパンデミッ クと流行性の解明(保)	中口 義次 石川県立大学 生物資源環境学部 准教授 (8)	150
タイ国の災害看護学の教育実態とコンピテンシーの確立~東 南アジア諸国の災害看護教育コンピテンシーの確立に向けて ~(保)	望月 経子 長野県看護大学 看護学部 教授 (3)	140